

緊急時の他機関との連携
及び情報発信について

稲葉 剛治

〔問〕 先日の男児行方不明の件をふまえ、緊急情報の発信方法と状況をお伺いしたい。

〔答〕市民生活部長 H P への情報の掲載、防災無線の放送、安全安心メールの配信、職員による見回りを行なっている。安全安心メールの登録者数は1586件。

〔問〕 ツイッターを防災時に限定せず、こうした事件の時にも活用し、ツイッター利用者を増やす事で、災害時にも活かすというのはいかがか。

〔答〕政策室長 ツイッターの活用に関しては「なりすまし」行為も考慮しながら研究していきたい。

◆防災倉庫の設置に関して

〔問〕 河川氾濫時を想定した上で防災倉庫設置位置を高くする必要があると考えるがいかがか。

〔答〕市民生活部長 河川の氾濫により防災倉庫の扉を開けられなくなるという事も考え、これから設置する倉庫に関して

では設置位置を高くする事を検討していく。

〔問〕 吉川美南地区への防災倉庫設置に関して急いだ方がいいと考えるが今後の予定は。



防災倉庫の充実・強化は…

〔答〕市民生活部長 今後新規で2か所設置していく予定。設置位置、倉庫の中身に関してはこちらから協議していく。

通学路の一斉点検と安全対策
の実施で通学路の安全確保を

互 金次郎

〔問〕 本年の4月、亀岡市など登校中の児童・保護者の列に車が突っ込むという事故が相次ぎました。

公明党市議団は、5月7日に「通学路の安全対策の緊急要望書」を市長と教育長に提出しました。

①通学路の一斉点検と安全対策の実施。

②通学路における安全対策への対応について、市民（特に保護者）への周知を図る。と要望しました。

要望事項の進捗状況は。

〔答〕教育長 23年度に作成した安全点検票に加筆、修正して再度、通学路安全点検を実施しました。関係機関との調整会議において情報の共有化をしています。また「学校教育だより」「学校・学年だより」などに交通安全に関する内容を掲載し、保護者、地域に向けて啓発、取組をお願いしています。

◆「ピロリ菌検査の導入で、
胃がん予防対策の充実を」

〔問〕 胃がんは、毎年約11万人が発症し、年間約5万人の方が亡くなっています。胃がん患者の95%がピロリ菌に感染しており、除菌することによつて、がんの発生を3分の1以下に抑えることができるといわれています。ピロリ菌検査を導入し、胃がん予防対策の充実を図るべきでは。

〔答〕市長 今後の国の検討経過を見守るとともに、実態把握に努めます。

子宮頸がん等3予防ワクチン
の対象者全員へ個別通知を

五十嵐 恵千子

〔問〕 厚生労働省は、子宮頸がん・ヒブ・小児用肺炎球菌の予防ワクチンを優先して定期予防接種に加える提言をまとめました。近隣市町では接種率向上を目指し、個別通知がされているようですが、当市、接種率向上に向け、市民への周知はどのようにお考えか。

〔答〕市長 個別通知していない3ワクチンは、平成25年に定期接種化しますので、対象者

全員へ個別通知していきます。

◆市内の学校におけるたんの吸引等について

〔問〕 地域の小学校へ入学を希望し、疾病と闘うお子さんがいます。法が一部改正されました。市内学校で、たんの吸引等の医療行為が受けられる体制をつくり、可能な限り願いに添った子育て・教育支援を推進すべきと考えます。ご見解を。

〔答〕教育長 平成24年度、医療的ケアが法改正から、一定の研修を受ける事により、普通学級・特別支援学級でも制度上実施することが可能になるとの通知が県からありました。研修を受ければ各小・中学校の教諭でも医療的ケアが可能になるとのことですが、まだ、具体的に示されていませんので、今後、県の動きを注視していきます。

◆防火水槽埋立地を活用した
自然とのふれあい広場整備を

〔答〕都市建設部長 児童広場として合致すると思えます。まずは、地元の意向を伺います。